

特別支援学校医療的ケア実施体制状況(H21.5.1)【研修】

※教育委員会主催の研修について調査。学校単位の研修については記載していない。

都道府 県市	教員研修			看護師研修		
	期間	人数	内容	期間	人数	内容
北海道	3日	52人	・医療的ケアを必要とする児童生徒の基礎疾患とその基礎的理解1(講義1) ・摂食嚥下障害…原因・病態・摂食(講義2) ・てんかんの種類とてんかん発作時の対応(講義3) ・呼吸障害のある児童生徒への対応(実習1) ・摂食嚥下障害への対応(実習2) ・医療的ケアを必要とする児童生徒の基礎疾患とその基礎的理解2(講義4) ・外科的視点からの経腸栄養管理(講義5・実習3) ・障がいのある子どもの救急医療(講義6) ・医療的ケアを必要とする児童生徒の基礎疾患とその基礎的理解3(講義7) ・重度・重複障害児の医学的基礎2(実習4)			教員研修と同じ
青森県	①1日 ②1日	①82人 ②87人	①講義「医療的ケアの実施体制」/講義「リスクマネジメント体制とヒヤリハットの活用」/講義「摂食・嚥下障害の原因と病態」/講義「重度・重複障害児の健康管理と医療的ケア」 ②講義「実施校における医療的ケアの校内体制等について」/演習「医療的ケアの実際」/演習「呼吸障害のリハビリテーション」			
岩手県	1日	14人	・協議・意見交換 校内の共通理解を図るための取り組み/教員と看護師の連携を図るための取り組み/危機管理(リスクマネジメント)に関する取り組みとその対処事例等/その他 ・講話 「医療的ケアを必要とする児童生徒の医療(仮題)」講師:もりおかこども病院看護師長			教員研修と同じ
宮城県	①1日 ②2日	①48人 ②15人	①講義Ⅰ 経管栄養の講義と実技/吸引の講義と実技/緊急時の対応/てんかんの講義/実践報告 講義Ⅱ(各学校で実施) 吸引及び経管栄養に使用する器具の取扱い/対象児童生徒への医療的ケア実施に係る留意点 ② 病院・施設での実習(4班に分かれて実施) 内容:咽頭より手前の吸引や留置されている管からの経管栄養の2行為の実技を中心とした実習	1日	2人	①特別支援教育について ②医療的ケア推進事業について ※非常勤職員として採用している2名の看護師に実施したものの。
秋田県				①2日 ②1日	11人	①平成21年度特別支援学校における医療的ケアに関する研修事業(北海道・東北・北関東ブロック)に参加 ②秋田県における特別支援教育について/県内医療的ケアの概要/会場校の医療的ケア実施場面の参観/会場校(肢体不自由特別支援学校)の授業参観/情報交換(ヒヤリハット事例について、医療的ケア実施上の課題について等)
福島県				1日	19人	講義Ⅰ「特別支援教育の理解と医療的ケア実施上の課題」/講義Ⅱ「学校における医療的ケアの実施体制～看護師と教員の連携～」/協議Ⅰ・Ⅱ「医療的ケアを実施する上での工夫・改善について～ヒヤリハットへの対応を中心に～」
茨城県	①2日 ②2日 ③1日	①48人 ②100人 ③13人	①「医療的ケアの概要と注意事項について」/「健康状態の観察について」/「呼吸機能とその障害、感染、消毒、糖尿病や心疾患の注意などについて」/「重度重複障害児の健康とその障害について」/「排泄、摂食機能とその障害について」の講義と医療的ケア実施校の実践発表。(4/2,4/3) ② ①に同じ(8/12,8/18) ③ 「ヒヤリハット事例について」	2日	39人 (2日計)	医療福祉センターの見学、ヒヤリハット事例に関する検討、各学校の情報交換等(6/17,11/20)
栃木県	①2日 ②各校 年1回 ③各校 年3~4 回	①50名 ②学校 ごと ③校内 全教職員	①担当教員及び学校看護師の基礎的専門的な知識・技能を高めるための医療関係者からの講話や各校からの実践報告。 ②検討委員会の機能充実を図るための指導医からの専門的な講話及び助言。 ③医療的ケアに関する基本的な事項や緊急体制に関する内容等。	①2日 ②個別	①50人 ②個別	① 教員研修①に同じ ②対象児童生徒のそれぞれの病状及び留意点に個別に対応するため、随時必要に応じて病院及び主治医のもとで研修を受けることができるように「医療的ケア実施要領」に規定し、各校で対応している。
群馬県	2日	35人	・呼吸障害・摂食機能障害・排泄器脳障害・てんかん発作・体温調節の障害・バイタルサインチェックの実際・姿勢と排痰・リスクマネジメント・その他			
埼玉県	3日	72人	第1講座「吸引に係る病理及び緊急時の対応と方法」/ 第2講座「特別支援学校における医療的ケアの在り方」/ 第3講座「リスクマネジメントについて」/第4講座「導尿に係る病理に関する内容及び緊急時の対応と方法」/ 第5講座「経管栄養に係る病理及び緊急時の対応と方法」/ 第6講座「吸引及び経管栄養の実際について」(実技研修)	2日	17人	・呼吸関係に関する研修 ・栄養関係に関する研修

特別支援学校医療的ケア実施体制状況(H21.5.1)【研修】

※教育委員会主催の研修について調査。学校単位の研修については記載していない。

都道府 県市	教員研修			看護師研修		
	期間	人数	内容	期間	人数	内容
千葉県	4日	90人	会場の関係から90人を2グループに分け、各2日間実施した。講師は医師に依頼している。Aグループ:7月31日(金)、8月3日(月)Bグループ:8月5日(水)、8月7日(金) <内容>各グループとも講義が中心。 ①病態生理 ②感染症 ③衛生管理 ④泌尿器系障害への対応 ⑤医療的ケアの基本的な考え方 ⑥摂食障害への対応 ⑦呼吸障害への対応 ⑧情報交換	2日	57人	第1回目は全員参加で実施するが、第2回目は実技研修の位置づけとなるので、6グループ(1グループ10名程度)に分けて実施した。第1回目 4月3日(金) 第2回目 7月30日(木)、31日(金)、8月6日(木)、17日(月)、19日(水)、24日(月) <内容> 第1回目 講義・説明(看護師の配置とサービス、医療的ケアガイドライン、県立特別支援学校の現状、医療的ケアの変遷と課題)、実践報告、グループ別協議と情報交換実技/第2回目 実技(2病院の協力を得て、医師の指導の下、実際の医療的ケアについての実技)
東京都	13日	60~120人	研修会Ⅰ 摂食に関する講座 研修会Ⅱ 医療的ケアに関する講座(基礎・専門) 研修会Ⅲ 自立活動に関する講座 研修会Ⅳ 養護教諭を対象とした講座			教員を対象とした研修全般を受けることができる。
神奈川県	①6日 ②2日 ③1日	①45人 ②80人 ③80人 (定員)	(1)医療ケア等の歴史や法的な解釈等について (2)吸引、経管栄養等の方法(座学及び模擬演習) (3)医療ケア等に係る医学的基礎知識 (4)重症心身障害児施設等における実習 (5)重度重複障害児のコミュニケーション指導 (6)摂食指導(基礎知識及び事例研究) (7)呼吸介助等、理学療法的アプローチ (8)各専門職種の特長性と多職種協働について	①2日 ②1日	①80人 ②22人 (定員)	(1)医療ケア等の歴史や法的な解釈等について (2)医療ケア等に係る医学的基礎知識 (3)重度重複障害児の病理 (4)摂食指導(基礎知識及び事例研究) (5)呼吸介助等、理学療法的アプローチ (6)各専門職種の特長性と多職種協働について
新潟県	2日	43人	医療的ケアの現状と教員による補助的ケアについて/重度・重複障害児の理解と指導/重度・重複障害児の療育/実践発表等	3日	20人	医療的ケアの現状と課題/ヒヤリハット事例の分析/重度・重複障害児の指導の実際(担当教諭より)/医療的ケアに関する実技について(医師より)/重度障害児の姿勢保持と呼吸の援助(理学療法士より)
福井県	1日	18人	講義「重度・重複障害のある児童・生徒等の医療や看護に関する基礎的な知識」/実習「痰の吸引」「経管栄養」「救急蘇生」以上、1日の中で午前と午後に分けて教員を対象とした一般研修を実施している。同様の内容を12月も実施予定。一般研修終了後、各学校にて必要に応じて個別研修を実施。	1日	17人	各校から報告「医療的ケアに関する情報の記録一様式と伝達方法」/協議「医療的ケアを必要とする児童生徒の看護記録等の取り方について」/実習Ⅰ「痰の吸引」/実習Ⅱ「経管栄養・口腔ケア」/実習Ⅲ「蘇生術・AEDの操作」
山梨県	①3日 ②1日 ③2日	①31人 ②5人 ③16人	①平成21年度障害児の医療的ケア研修会(総合教育センター) 障害のある子どもの健康管理/障害のある子どもの病理/山梨県における医療的ケア/学校における医療的ケアの実際/障害児の摂食・嚥下指導/障害児の摂食指導の実際 ②医療的ケアに係る第1回専門研修 対象の理解/医療安全と感染防止/排泄障害に関わるケア/自己導尿、摘便の指導について/栄養及び摂食障害のケア/呼吸に関わるケア/医療的ケアの実際 ③医療的ケアに係る第2回専門研修 呼吸に関わるケア/講義「疾患について」/食事指導の実際/機械・器具の取扱い/呼吸に関わるケア/AED研修/栄養及び摂食障害ケアの実際/排泄に関わるケア/感染対策/意見交換(総看護師長以下看護師、学校看護師、養護教諭、県教育委員会出席)			教員研修と同じ
長野県	2日	107人 (延人数)	呼吸のしくみ/排尿のしくみ/てんかんについて/ポジショニングについて/摂食嚥下について/栄養管理について/吸引・経管栄養・導尿について	1日	6人	学校現場における医療的ケアの参観、情報交換
岐阜県	2日	30人	医療的ケアについて基本的事項を各校で研修した者を対象に、重度の障害・疾病のある児童生徒についての医療上の専門的な対応方法に関する具体的な理解を深める。 ・重度障害児の身体の特徴/坐薬の挿入/自己導尿の介助/吸引、排痰の援助、口腔衛生/経管栄養	1日	31人	特別支援学校において医療的ケアが必要な児童・生徒に対し直接対応している看護師を対象に、看護師の役割と任務、重度重複障がい児の理解と医療的ケアの方法を確認すると共に、看護師間の情報交流、共通理解を図る。
静岡県	2日	95人	基礎研修(第1回)摂食嚥下機能障害と経管栄養(講義・質疑)/基礎研修(第2回)子どもの成長発達とその障害(講義・質疑)/専門研修 呼吸にかかわる医療的ケアの実際(講義・質疑)/(参考)各学校で計画実施する個別の「臨床研修」及び「指導医による一般研修(年3回程度)」の経費は、教育委員会の学校管理費(既定経費)による。	2日	31人	・第1回看護師業務に従事する特別非常勤講師の研修会(1日)特別支援学校における医療的ケアについて(講義)/情報交換/本年度の本県の医療的ケアの実施体制について(講義) ・第2回看護師業務に従事する特別非常勤講師の研修会(2日)病棟見学研修(経管栄養、吸引、気管内吸引、カニューレ管理、酸素吸入等)/障害児のポジショニングと移動動作のポイントと注意点、感染対策、胃ろうの管理について
愛知県				①4日 ②1日	①18人 ②18人	①病院での実技実習 ②講義及び研究協議

特別支援学校医療的ケア実施体制状況(H21.5.1)【研修】

※教育委員会主催の研修について調査。学校単位の研修については記載していない。

都道府県市	教員研修			看護師研修		
	期間	人数	内容	期間	人数	内容
三重県	①1日 ②3日	①35人 ②35人	①「学校における手当の教育的意義と配慮点について」 ／「二分脊椎:病態・合併症・その対応」／「口腔衛生管理:菌の治療、食後の対応」 ②「呼吸障がい:筋ジス呼吸・循環器障がい・その対応」 ／「摂食嚥下障がい:原因・病態・その対応」／「呼吸障がいの肺学的療法:呼吸リハビリテーション」／「小児慢性疾患の治療と管理」／「障がいの感染予防対策について」 ／「救急医療・緊急時の対処:バイタルサインの観察」 ／「食べやすい食形態、再調理」／「摂食嚥下障がいの訓練法:介助の実際」 ／「学校における医療的ケアおよび医学的な諸問題について」	2日	14人	講義「医療的ケアを必要とする小児医療の実態」 ／情報交換
滋賀県	1日	18人	緊急時対応のための一般研修と器具の扱いなどについての臨床研修	①半日 ②半日	①15人 ②2人	①学校における医療的ケア実施についての概要 ／各学校におけるインシデント・アクシデントの報告と検討 ／医療的ケア実施に伴う諸課題の整理 ②経管栄養、吸引を中心とした日常生活援助の見学実習
京都府	①1日 ②1日 ③1日	①②③ 約90人	特別支援学校における医療的ケアの意義及び基礎知識(講演) ／重度・重複障害児の身体の特徴と指導上の留意点(講演) ／重度・重複障害児の摂食と呼吸に関すること(講演) ／経管栄養に関する基礎知識及び最新の情報等(講演) ／ヒヤリハット事象について(報告・協議)	1日	24人	教員研修に加えて、看護師・養護教諭を対象とした研修会を実施 研究協議「チームで行う医療的ケアの在り方」 ／講義「呼吸にかかわるフジカルアセスメント(人工呼吸器・聴診・喘息等にかかわること)」
大阪府	①2日 ②1日 ③2日	①約250人(延べ) ②約30人 ③約60人(延べ)	①講義「障がいのある子どもに対する医療的ケアー小児神経科の立場からー」 ／講義「障がいのある子どもに対する医療的ケアー消化器・内分泌科の立場からー」 ／講義「医療的ケアの歴史と意義」 ／講義「障がいのある子どもに対する医療的ケアー小児耳鼻咽喉科の立場からー」 ②実技指導(気管切開内吸引、鼻腔栄養・胃ろう栄養、自己導尿、在宅人工呼吸器の取扱い) ／情報交換・質疑応答 ③講義「呼吸障がいのある子どもの医療的ケア」 ／講義「障がいのある子どもの人権について」 ／班別協議			教員研修の②と同じ
兵庫県	1日	60人	児童生徒が安全に教育を受け、その教育効果を最大限に引き出すため、特別支援学校における養護教諭・教諭や看護師など他職種と連携した教育の在り方について考える。 (1) 講義「学校教育と医療的ケアへ他職種と連携した教育について」 (2) 情報交換 特別支援学校において、養護教諭・教諭と看護師等の連携と協働の在り方について			教員研修と同じ
奈良県	①半日 ②半日	①50人 ②15人	①校内における医療的ケアの実施体制について ／医療的ケアを必要とする児童生徒の指導について ／主治医との連携について ②特別支援学校における医療との連携の在り方			
和歌山県				1日	10人	・県内特別支援学校の現状について(特別支援学校学習指導要領の改訂を踏まえて) ・医療的ケアに関する研修事業参加を踏まえた伝達講習 ①特別支援学校における医療的ケアへ実施体制及び現状と課題 ②特別支援学校における看護師の役割 ・平成20年度本県ヒヤリハット事例について
鳥取県	1日	14人	講義「嚥下と呼吸について～シーティングの視点から～」 理学療法士 講義「小児の摂食・嚥下障害～生理・障害・アプローチ～」 言語聴覚士 演習「姿勢と嚥下」 口腔ケア 言語聴覚士・理学療法士・看護師	1日	16人	講義「重症心身障害児の病理」 医師 講義「小児神経筋疾患と重症心身障害児の気道クリアランス」 看護師 実技研修「リラクゼーション、呼吸介助」 看護師 情報交換
島根県	1日	40人	講義1「医療的ケアの現状と課題」 ／講義2と演習「重度・重複障害児の健康・安全と教育支援～呼吸障害と摂食嚥下障害を中心に～」 (演習内容 摂食嚥下指導と呼吸実技演習) (講師:他県特別支援学校教諭)	1日	9人	学校看護師連絡会の中で、看護師の要望に応じて研修内容を決めている。その際の講師派遣にかかる謝礼・旅費の予算を確保している状況。今年度は、以下のとおり。8月:ブロック研修会の報告 各校の情報交換、特別支援教育への理解を深めてもらうための研修 講義「医療にかかわる子どもたちの状況について」(講師:県内医師)
岡山県	①1日 ②1日	①60人 ②50人	①旭川荘児童院小児神経科医師による講義「経管栄養、吸引、導尿等の医療的ケアに関わる配慮事項について」及び演習を実施した。演習では、万能型実習モデル人形を使った吸引の手技及び、教員同士が実際に吸引器を使用して手技の研修を行った。 ②午前は、旭川荘児童院小児科医師による講義「重症心身障害児の健康管理と医療的ケア」を実施した。午後は、肢体不自由特別支援学校の養護教諭による発表、演習「医療的ケアの円滑実施に向けて」 「重度・重複障害児の姿勢への支援」を実施した。	1日	40人	対象は看護師、担当教頭、養護教諭。「リスクマネジメント体制とヒヤリハット事例の活用」の講義題で、岡山大学医学部附属病院医療安全管理部の看護師長による講義と、特別支援学校におけるヒヤリハット事例の分析を行った。また、ヒヤリハット事例の演習ということで、危険予知(KYトレーニング)を実施し、確認、対応等の演習を実施した。

特別支援学校医療的ケア実施体制状況(H21.5.1)【研修】

※教育委員会主催の研修について調査。学校単位の研修については記載していない。

都道府 県市	教員研修			看護師研修		
	期間	人数	内容	期間	人数	内容
山口県	2日	35人	所管説明 一般研修(基礎分野・専門分野) ・基礎分野 児童生徒の身体の成長・発達及医療的ケアが必要となる疾患・障害に関する基礎を理解するとともに、児童生徒の健康状態の観察方法及び異常が生じた際の緊急対応(救急蘇生法を含む)の基礎を修得する。 ・専門分野及び個別研修 日常的・応急的手当に関する一般理論を理解するとともに、基本的な手段(異常が生じた際の緊急対応を含む。)を修得する。医療的ケアが必要な児童生徒について、その身体状況及び医療的ケアの実施に際しての留意事項を理解するとともに、当該児童生徒に対する個別的な手段(異常が生じた際の緊急対応を含む。)を修得する。	1日	31人	所管説明、研修報告 講義 研究協議 各学校における医療的ケアの成果と課題/医療的ケア実施に向けた研修体制等の整備/教員と看護師の連携等
徳島県				1日	12人	講義・実習「重度障害児の呼吸管理について」/医療的ケア研修事業(鳥取県)の報告
香川県	5日	55人	※教育委員会と学校で共催 重症心身障害児の医療的ケアの必要性について(講義) /重症心身障害児の泌尿器系疾患について(講義) /重症心身障害児の呼吸管理、呼吸障害について(講義) /重症心身障害児の消化器系疾患等について(講義) /重症心身障害児の摂食嚥下障害、経管栄養、栄養管理について(講義)/学校事例発表(ビデオ視聴)			
愛媛県						
福岡県	2日	39人	説明「福岡県における特別支援学校医療的ケア体制整備事業について」/講義「医療行為について」「重症心身障害児(者)のリスクマネジメント」「誤嚥防止の観点からの食事指導について」「医療的ケアの必要な子どもたちの疾患と障害について」/講義・実習「重度・重複障害児の自立活動と配慮事項」/実践発表「医療的ケアの必要な児童生徒の授業の在り方について」/「本校における医療的ケア体制整備の実際」/協議「医療的ケア体制整備における現状と課題について」	2日	13人	説明「福岡県における特別支援学校医療的ケア体制整備事業について」/講義「重症心身障害児(者)のリスクマネジメント」「観察とバイタルサイン」/特別支援学校での医療的ケア実施上の配慮事項について「重症心身障害児の呼吸障害を中心とした医療について」/協議「特別支援学校における医療的ケアの取組について」
長崎県	①1日 ②3日 ③適宜	①②③ 10人	①講義「医療的ケアについて」/講義「重度・重複障害児の医療について」/講義「重複障害児の看護について」 /講義「重度・重複障害児の医療的ケアと障害の基礎について～主に呼吸障害、摂食・嚥下障害～」/演習「介助の方法・姿勢のとらせ方について」 ②講義「摂食嚥下障害について(嚥下障害・消化器障害)」/講義演習「摂食指導・口腔ケアについて」/講義演習「経管栄養(注入等)について」/講義・演習「呼吸介助と姿勢」/講義演習「吸引について」/講義「緊急時の対応について(発熱、てんかん、発生時の対応)」/研究協議「重度重複障害児と自立活動の実践」/病棟見学 ③対象児に医療的ケアを実施するにあたって、指導を受けたい内容(各校で事前に主治医へ伝えておく)。 (例)医療的ケアが必要な児童生徒の身体状況について・当該児童生徒に対する具体的手技(異常が生じた際の緊急対応を含む。)の修得 ・当該児童生徒の個別マニュアルの確認	①2日 ②1日 ③1日	①2名 ②8人 ③8人	①実習(独立行政法人国立病院機構長崎病院) ②研究協議(各学校の医療的ケア実施における現状と課題) ③研究協議(各学校の医療的ケア実施における現状と課題～ヒヤリハット事例を中心に～)
熊本県	1日	45人	研修1 説明 ほほえみスクールライフ支援事業の概要 研修2 講義「重度心身障がい児概論」 研修3 講義「重症心身障がい児の医学的対応」 研修4 講義「医療的ケアの内容と配慮事項」 研修5 演習「器具の操作方法と注意事項」			
大分県	3日	40人	(第1回)講義「重症心身障がい児の障がい・疾病と健康管理・疾病予防に関する理解」/講義「学校におけるリスクマネジメント」 (第2回)「たんの吸引の基礎」/「たんの吸引の実際」 (第3回)「経管栄養の基礎」/「経管栄養の実際」			

特別支援学校医療的ケア実施体制状況(H21.5.1)【研修】

※教育委員会主催の研修について調査。学校単位の研修については記載していない。

都道府 県市	教員研修			看護師研修		
	期間	人数	内容	期間	人数	内容
沖縄県				4日	9人	第1回(1)特別支援教育について(2)重度重複障害児の身体の特徴と指導上の留意点(3)特別支援学校における医療的ケアの意義と基礎知識(4)沖縄県における医療的ケア体制整備事業と他県の状況(5)情報交換他 第2回(1)施設見学10:00~11:00(泡瀬小児発達センター)(2)情報交換(各学校の課題、質問・要望等) 第3回(1)情報交換(2)各校の研修報告等 第4回(1)特別支援学校における医療的ケア体制整備事業の概要について①評価とまとめ②運営委員会の確認事項③医療的ケア予算関連(2)医師(運営委員)の講話①本県の医療的ケアについて②嘱託看護師の行う医療的ケアとは③ヒヤリハット事例他
札幌市	3日	10人	医療的ケアに関する理論実技研修(一般研修)については、北海道教育委員会が実施する研修に、医療的ケア実施予定の教員が参加している。(詳細は、北海道教育委員会の回答内容を参照)			
仙台市	1日	28人	(1)本事業の運営について (2)学級担任としての役割 (3)情報交換	1日	4人	勤務について(勤務時間、休暇、給与、予算)/要医療通学児童生徒学習支援事業について ・本事業の趣旨/医療行為の内容/担任との連携
さいたま市	3日	8人	埼玉県の実施する「メディカルサポート事業」の研修への参加 「特別支援学校における医療的ケアの在り方」/「吸引に係る病理及び緊急時の対応と方法」/「経管栄養に係る病理及び緊急時の対応と方法」/「導尿に係る病理に関する内容及び緊急時の対応と方法」/「リスクマネジメントについて」			
川崎市	2日	52人	・医療的ケア研修Ⅰ(全教員) 医師による講義「主として、てんかんについて一医学的な知識と教員の配慮事項など」 ・医療的ケア研修Ⅱ(担当教員) 医療的ケアの実際の様子をDVDで視聴しながら、解説を受ける。	2日	1人	特別支援学校についての理解を深める講義/重症心身障害児施設での実技演習
横浜市	5日	40人	講義等 障害児の医療/医療的ケアの手法/呼吸障害/消化器障害/呼吸障害のリハビリ/ポジショニング 実技研修(小グループ毎に上記日程内で実施) 経管栄養・吸引等の方法、摂食・排泄等の介助方法、機能訓練等の実際 他県立こども医療センター・横浜療育医療センターでの医療的ケアの実技研修	2日	7人	実技研修(重症心身障害児施設) 医療的ケアに関する手法の習得と確認 ・たんの吸引・気管切開部の管理・導尿・経管栄養 ・胃ろう周辺部の管理・人工呼吸器、酸素療法の実際等 他に嘱託看護師全員を対象とした看護師連絡会を年5回程度行い、情報交換や事例検討を実施。
京都市				2日	約30人	医療的ケア安全管理委員会を年2回開催しており、その中でインシデント・アクシデント事例とその分析や各校における実施体制の確認・課題の協議を行うとともに、医師等の講師を招き、取組内容等について指導助言を頂いている。
堺市	6日	14人	呼吸障害のある子どもの医療的ケア、医療的ケア実技研修、重度重複障害児の理解と対応 等	6日	14人	呼吸障害のある子どもの医療的ケア、医療的ケア実技研修、重度重複障害児の理解と対応 等
神戸市	①1日 ②1日 ③2日 ④1日 ⑤5日	①163人 ②44人 ③90人 ④23人 ⑤25人	①医療的ケアの意義と役割 ②経管栄養について/呼吸、吸引について ③摂食について ④導尿、排泄障害について ⑤医師、看護師等による各校への巡回研修	①4日 ②3日	①5人 ②3人	①各校看護師、養護教諭への巡回研修 ②重症心身障害児施設における実地研修
福岡市				1日	12人	医療的ケアの事故と対応について研修を計画している。